

多くのチャレンジを知ることは一番の栄養

たくさんの出会いと歴史と感動が詰まったゆきさんのお部屋「ゆき、えにしネット」をよく覗かせていただいています。そのお部屋は、その名の通り、ゆきさんがこれまで実に多くの現場や人、想いを結んでこられたこと、それが今もなお拡張し続けていることを改めて認識する場所。

そして、そこに残されたたくさんの改革者の軌跡は、多くの勇気とやる気を呼び起こすものです。ゆきさんは、ご自身のことを「小間使い」とおっしゃりますが、このコーディネート力はまさに「縁結びの神様」だと思っています。

日本だけでなく、世界を見渡すと、よりよい医療・福祉のための多くのチャレンジをされている方が多くいらっしゃいます。そして、その活動を知ることが、私たちが今、自分の仕事・ライフワークにおいてどういったチャレンジをしていかなければいいのかを考える一番の栄養だと思います。

制度や仕組み、立場や職能に囚われず、本当に必要とされるもの、本当に人に届くものを見極めていく力が、これからますます求められていく。そのためには、多様な視点をつなげ、共に考え、行動できる関係性づくりが不可欠なのだと、改めて気づかされました。

せっかく、これだけ素晴らしい栄養をいただいているのだから、自分なりに葉となり枝となって、最後は良い実を实らせることができればいいなと思います。



長浜(山田)麻紀子

Makiko Y Nagahama

沖縄県保健医療介護部 医療政策課